

補助金評価シート

区分	重点・重点以外	補助根拠	法令補助・その他補助	開始時期	平成29年4月1日	終期	令和2年3月31日
補助事業名 [下段に制度概要を記載]	<b>ガストロノミーツーリズム推進事業補助金</b> (公財)新潟観光コンベンション協会が行う、ガストロノミーツーリズム推進事業に対し、経費を助成する。						
款・項・目	商工費 商業費 観光費						
所属等	観光・国際交流部 観光政策課 電話025-226-2608						

年 度		平成29年度(1年目)	平成30年度(2年目)	令和元年度(3年目)
予算額等の推移	予算(千円)	20,350	16,056	14,060
	決算(千円)	15,942	12,296	14,060
補助率		定額	定額	定額
目 標		本市のガストロノミーツーリズムの魅力を様々な手段で情報発信するとともに、着地型旅行商品の企画・造成を行い、交流人口の拡大を図る。 <目標が数値でない場合の評価方法> 観光入込客数調査、延べ宿泊者数調査結果や実績報告書などを総合的に判断し、本市の交流人口拡大に寄与しているかを評価する。		
目標に対する達成度(指標)	達成率100%以上			
	達成率80%以上			
	達成率50%以上			
	達成率50%未満			
	目標が非数値化 ※取扱基準に記載した評価手法に基づく達成度について記入してください	・延べ宿泊者数は前年比+2.6%、観光入込客数は前年比+0.1%となり、当該事業も交流人口の増加に貢献したと判断できる。	・延べ宿泊者数は前年比+1.7%、観光入込客数は前年比+5.1%となり、当該事業も交流人口の増加に貢献したと判断できる。	1月～5月の暫定値において、延べ宿泊者数は前年比+5.3%増加しており、当該事業が交流人口の拡大に貢献していると判断できる。
補助事業者による情報の公表		ホームページ、チラシ等		

評価欄	チェック	a. 補助対象経費は事業の直接経費となっているか	○	e. 指標の推移が維持・向上しているか	×
		b. 補助率は1/2以内か	×	f. 補助事業者による情報の公表は適正に行われているか	○
		c. 補助額が5万円以上になっているか	○	g. 目標は数値化されているか	×
		d. 収入が過剰になっていないか(繰越金が生じていないか)	○	h. 目標は補助金の成果を検証しやすい設定か	×
	×になった項目に対する今後の取組	<a～fにおける取組> ガストロノミーツーリズムを構築するため、旅行商品の企画・造成・販売などを行ってはいるが、事業に係る費用を自主財源で賄うことは困難である。今後もさらなる自主財源確保に努めるよう求めていく。 <g～hにおける取組> ガストロノミーツーリズムを構築するため、旅行商品の企画・造成・販売などを行ってはいるが、事業に係る費用を自主財源で賄うことは困難である。今後もさらなる自主財源確保に努めるよう求めていく。			
	目標未達成の原因分析	<期間(3年)を通して目標達成率80%未満の場合、なぜ達成できなかったか>			
① 拡充・改善(補助率、補助額、補助対象経費、その他) ② 継続 ③ 廃止 ①～③の評価理由 ※目標未達成の原因分析に該当の場合はその要因を踏まえて今後どうするのかを記載すること (公財)新潟観光コンベンション協会の実施するガストロノミーツーリズム推進事業は、本市のガストロノミーツーリズム構築の一助となるとともに、観光入込客数や延べ宿泊者数など交流人口が拡大しており、引き続き支援する。					